

最近の活動状況（ファンクラブが音楽文化に貢献できること）

札幌くらぶコンサートは、1999（平成11）年に第1回が開催され、2005（平成17）年まで7回開催されました。

札幌くらぶコンサートは、少し特殊なコンサートだったのです。

北海道の宝である札幌交響楽団の演奏を、世界トップクラスの音響を誇る札幌コンサートホールで、少しでも多くの方々に親しみ楽しんでもらい、定期演奏会にも気軽に聴きにきてもらいたい、とりわけ、次代の札幌ファンを創り出したい、という札幌くらぶの活動目標を実践するために低廉なコンサートを、という熱く強い希望を、楽団と楽員の方々にご理解をしていただき実現した、日本のオーケストラの中では極めてまれなコンサートでした。

札幌くらぶでは、開催経費を最低限に絞り込む工夫をしながら、会員の方々にチケットを数枚ずつ知り合いに販売するという実践活動を通じて、音楽に関するクラブ活動などに参加している高校生などをこのコンサートに招待し、札幌コンサートホールで札幌の演奏を聴いてもらい、これらの方々に将来札幌を支えるリスナーになってもらいたい、そして札幌を共に聴くことの喜びを感じ合うことによって、札幌くらぶの仲間づくりになる、そんな思いを込めて開催してきました。

しかし、札幌市内の小学6年生1万6千人全員に札幌の演奏を札幌コンサートホールで聴かせようと、札幌くらぶが政策提案してきたコンサートが、2004（平成16）年、Kitaraファーストコンサートとして実現したことにより一定の役割が終わったのではないかという認識、また、札幌が財政的に厳しい状況にあることが表面化するなど、これまでどおりの札幌の協力が得にくくなったことなどから新たなコンセプトのコンサートを模索するため2006年に一時休止することを決定しました。

札幌くらぶ創立10周年を迎えた2006年、次の10年の活動目標となる「札幌くらぶビジョン」策定のなかでもコンサートの在り方などが検討され、「札幌くらぶコンサートは、会員にとっても重要と思う。定期会員ばかりが札幌交響楽団ファンではない。様々な人もいる。今までの札幌くらぶコンサートには楽しみがあった。札幌くらぶの会員にとって特典になるコンサートがあってもよいと思う。」と、札幌くらぶコンサートの必要性が報告され、復活に向けて動きだしました。

「札幌くらぶコンサート」は、会員にとって重要のもであり、楽しみであり、札幌を身近に感じるものであり、札幌くらぶにとっても活動の基本であることから、コンサートの対象をこれまでの青少年から団塊の世代の大人を対象にしたものに転換することで、札幌を説得、提案し続け、札幌も札幌くらぶコンサートは札幌くらぶにとって重要なものであり、活動の基本であることに理解を示しながらも、これまでどおりの協力では難しい、このことを札幌くらぶが理解してくれるなら復活に協力しようということになり、2009年8月9日（日曜日）に第8回札幌くらぶコンサートから復活することになりました。

ちなみに、復活コンサートの最初の指揮者は、ここ山響音楽監督の飯森範親さんに決まりました。

その他、ファンクラブ活動でアピールしたい事など

札幌くらぶでは、札幌くらぶビジョンで提唱され、2006年から始めた「札幌楽譜支援金制度」が順調に推移し、今年度は約130名の会員から任意の札幌楽譜支援寄付金が30万円以上集まり、会費の支援金分を合わせ予定どおり今年度も50万円を札幌に寄贈することができ、同じく札幌くらぶビジョンで提唱された「楽員コンサートの支援活動」はHPにチラシを載せて告知するほか、交流会などで楽員が積極的に参加者に対してPRやチケット頒布など行っています。

また、練習見学会は、札幌がKitaraの練習を一般解放していたことにより2006年から休止していましたが、昨年からは札幌がこれを取り止めたため、札幌の協力を得て今年11月のKitaraの練習から見学会を再開することになりました。

J O F C ホームページ充実に関する提案のお願い

日本プロオーケストラファンクラブ協議会（J O F C）のホームページは、札幌くらぶが担当して作成しておりますが、情報収集は会員のHPに頼っていることから限界があり、皆様方の情報提供や提案がホームページをより充実させることができると考えております。

つきましては、

1. 会員のページを1ページずつ作成したいので、

設立の経緯と活動方針

主な活動（年間のイベントなど）

入会申込方法

会費、会員特典

組織、役員、スタッフ

オーケストラやイベントなどの写真2～3点

などの情報

2. トップページに入れたい項目や新たに作成したいページの提案

3. 楽団員個人のHPのURLと簡単な説明

などの情報や提案をお願いします。

